



2022年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社グッドスピード 上場取引所 東
 コード番号 7676 URL <https://goodspeed-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 久統
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松井 靖幸 TEL 052 (933) 4092
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年9月期第1四半期の連結業績（2021年10月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年9月期第1四半期	12,059	-	97	-	36	-	3	-
2021年9月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2022年9月期第1四半期 3百万円 (-%) 2021年9月期第1四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年9月期第1四半期	0.99	0.98
2021年9月期第1四半期	-	-

(注) 2021年9月期第2四半期末をみなし取得日として株式会社チャンピオン（現 株式会社チャンピオン76）を連結子会社化したことに伴い、2021年9月期第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、2021年9月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年9月期第1四半期	23,812	1,772	7.4
2021年9月期	21,995	1,806	8.2

(参考) 自己資本 2022年9月期第1四半期 1,750百万円 2021年9月期 1,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2022年9月期	-	-	-	-	-
2022年9月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	34.0	1,000	64.4	770	72.8	460	20.5	135.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年9月期1Q	3,164,000株	2021年9月期	3,125,900株
② 期末自己株式数	2022年9月期1Q	52株	2021年9月期	24株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年9月期1Q	3,132,934株	2021年9月期1Q	3,023,700株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、2021年9月期第2四半期末をみなし取得日として株式会社チャンピオン（現 株式会社チャンピオン76）を連結子会社化し、前第2四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表作成会社に移行いたしました。従いまして、前年同四半期の連結財務諸表表を作成しておりませんので、これらとの比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による厳しい状況が徐々に緩和される中で、国内経済は持ち直しの動きが見られております。しかしながら、今後の新型コロナウイルス感染症の変異株をはじめ感染症による国内外経済への影響や金融資本市場の変動等の影響により、景気の先行きは不透明な状態が続くと見込まれております。

このような環境のなか、中古車業界におきましては、2021年10月から2021年12月までの国内中古車登録台数は、889,356台（前年同期比8.0%減）と前年同期間を下回る結果となりました。（出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計データ）

このような厳しい状況の下、当社グループにおきましては、2021年12月に岐阜県岐阜市にグッドスピード車検岐阜店をオープンするなど、車、バイクにおける新車・中古車販売の拡大及び買取や整備・钣金・ガソリンスタンド、レンタカーサービス、保険代理店サービスを強化し、顧客の車に関する需要に対し、ワンストップでサービスを提供できる体制作りを積極的に進めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、12,059百万円、営業利益は97百万円、経常利益は36百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は3百万円という結果となりました。

なお、当社は、自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントのため、サービスごとの経営成績の内容を記載しており、セグメントごとの記載はしていません。

(自動車販売関連)

当第1四半期連結累計期間の四輪小売販売台数は、3,151台となりました。加えてMEGA専門店と買取専門店とバイク販売店が寄与し、当第1四半期連結累計期間における売上高は11,221百万円となりました。なお、新車・中古車販売、買取を自動車販売関連としております。

(附帯サービス関連)

販売台数の増加とM&Aや整備工場新設により、当第1四半期連結累計期間における売上高は837百万円となりました。なお、整備・钣金・ガソリンスタンド、保険代理店、レンタカーを附帯サービス関連としております。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は14,394百万円で、前連結会計年度末に比べ1,437百万円増加しております。主な要因は、商品が1,958百万円増加した一方、前払金が248百万円、現金及び預金が211百万円、売掛金が164百万円減少したことなどによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は9,417百万円で、前連結会計年度末に比べ378百万円増加しております。主な要因は、有形固定資産のリース資産が107百万円、建設仮勘定が96百万円増加したことなどによるものであります。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は15,608百万円で、前連結会計年度末に比べ293百万円増加しております。主な要因は、短期借入金が545百万円、1年内返済予定の長期借入金が365百万円増加した一方、買掛金が785百万円減少したことなどによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は6,431百万円で、前連結会計年度末に比べ1,558百万円増加しております。主な要因は、長期借入金が1,429百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,772百万円で、前連結会計年度末に比べ34百万円減少しております。主な要因は、資本金が37百万円、資本準備金が37百万円増加した一方、利益剰余金が120百万円減少したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現在のところ概ね計画通りに進捗していることから、2021年11月12日に「2021年9月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はございません。今後の進捗状況等に応じ、精査の上、開示すべき事象が生じた場合には速やかに公表いたします。なお、当該業績予想は本日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,476,637	1,264,743
売掛金	2,405,378	2,241,084
商品	8,088,098	10,046,827
貯蔵品	1,987	2,551
前払金	679,489	431,477
前払費用	186,838	175,074
その他	117,904	232,344
流動資産合計	12,956,334	14,394,103
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,363,029	4,437,492
構築物（純額）	889,973	937,066
機械及び装置（純額）	96,808	93,214
車両運搬具（純額）	102,955	113,587
工具、器具及び備品（純額）	290,555	286,051
土地	1,487,285	1,487,367
リース資産（純額）	321,261	428,972
建設仮勘定	353,591	449,946
有形固定資産合計	7,905,461	8,233,700
無形固定資産		
のれん	72,565	67,567
ソフトウェア	18,054	17,396
リース資産	100,234	109,167
その他	103	103
無形固定資産合計	190,958	194,234
投資その他の資産		
出資金	838	838
保証金	711,972	714,237
長期前払金	78,436	81,815
長期前払費用	11,445	11,199
繰延税金資産	74,350	115,967
その他	65,859	65,948
投資その他の資産合計	942,903	990,007
固定資産合計	9,039,323	9,417,942
資産合計	21,995,657	23,812,046

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,715,730	930,461
短期借入金	9,805,771	10,351,383
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	1,763,597	2,129,380
リース債務	92,745	112,935
未払金	120,318	129,839
未払費用	210,557	244,034
未払法人税等	191,534	23,586
前受金	1,146,931	1,290,747
預り金	70,903	100,314
返金負債	-	161,338
賞与引当金	108,805	55,290
役員賞与引当金	8,070	-
その他	20,533	19,211
流動負債合計	15,315,498	15,608,521
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	4,060,093	5,489,185
リース債務	368,518	475,769
繰延税金負債	23,654	32,310
資産除去債務	24,868	24,920
長期前受金	366,224	379,333
固定負債合計	4,873,359	6,431,520
負債合計	20,188,858	22,040,041
純資産の部		
株主資本		
資本金	441,806	478,998
資本剰余金	460,772	497,964
利益剰余金	893,959	773,598
自己株式	△53	△112
株主資本合計	1,796,484	1,750,449
新株予約権	10,315	21,555
純資産合計	1,806,799	1,772,004
負債純資産合計	21,995,657	23,812,046

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
売上高	12,059,169
売上原価	10,020,548
売上総利益	2,038,621
販売費及び一般管理費	1,941,083
営業利益	97,537
営業外収益	
受取利息	330
受取手数料	1,901
その他	2,897
営業外収益合計	5,128
営業外費用	
支払利息	45,955
支払手数料	19,850
その他	18
営業外費用合計	65,824
経常利益	36,842
税金等調整前四半期純利益	36,842
法人税、住民税及び事業税	12,240
法人税等調整額	21,483
法人税等合計	33,724
四半期純利益	3,117
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,117

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,117
四半期包括利益	3,117
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,117
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、ローン販売で計上する手数料売上高のうち、将来の早期返済により見込まれる返金額を除いた額を売上高として認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は39,723千円、売上原価は16,692千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ23,031千円増加しております。また、利益剰余金の当期首残高は123,478千円減少しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日 至2021年12月31日)

当社グループは、主に自動車販売及びその附帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。